

「断食についての問答」

2023年02月17日

人々はイエスに言った。「ヨハネの弟子たちは度々断食し、祈りをし、ファリサイ派の弟子たちも同じようにしています。しかし、あなたの弟子たちは食べたり、飲んだりしています。」イエスは言われた。「花婿が一緒にいるのに、婚礼の客に断食させることがあなたがたにできようか。」（ルカ福音書5：33～34）

誰も、新しい服から布切れを切り取って、古い服に継ぎを当てたりはしない。（ルカ福音書5：36b）また、誰も、新しいぶどう酒を古い革袋に入れたりはしない。（ルカ福音書5：37）

人々は主イエスに、「ヨハネの弟子たちは度々断食し、祈りをし、ファリサイ派の弟子たちも同じようにしています。しかし、あなたの弟子たちは食べたり、飲んだりしていません」と問いかけた。断食は、罪を犯す者であることを悲しみ、神の前にへりくだり、そして、貧しい者への同情の思いを寄せるため、食を断つ宗教的行為である。洗礼者ヨハネの弟子たちやファリサイ派の弟子たちは週に二度（月、木）、先祖からの言い伝え通りに行っていた。この断食について、主イエスはマタイ福音書6章16節～18節で、下記のように語っている。「断食をするときには、偽善者のように暗い顔つきをしてはならない。彼らは、断食しているのが人に見えるようにと、顔を隠すしぐさをする。よくしておく。彼らはその報いをすでに受けている。あなたは、断食するとき、頭に油を塗り、顔を洗いなさい。あなたの断食が人に見られることなく、隠れた所におられるあなたの父に見ていただくためである。」真摯に断食する人もいるだろうが、自分が信仰深い人間であることを他人に見せるために、深刻な顔をして演じていると批判している。主イエスは、「花婿と一緒にいるのに、婚礼の客に断食させることがあなたがたにできようか。しかし、花婿が取り去られる日がくる。その日には、彼らは断食をすることになる」と答えられた。花婿である主イエスが一緒にいる喜びの時に、婚礼の客である人々は悲しみの断食することはない。主イエスは、神から遣わされた私によって、新しい喜びの福音の時代が到来したと、二つの譬えで語られた。一つは、「誰も、新しい服から布切れを切り取って、古い服に継ぎを当てたりはしない。そんなことをすれば、新しい服も破れるし、新しい服から取った布切れも古いものには合わないだろう。」新しい布切れを古い服に継ぎ当てると、布の伸縮度が違うので引き破って、継ぎ当ては、更に大きな破れになるという意味である。二つ目は、「誰も、新しいぶどう酒を古い革袋に入れたりはしない。そんなことをすれば、新しいぶどう酒は革袋を破って流れ出し、革袋も駄目になる。新しいぶどう酒は新しい革袋に入れなければならない。」新しいぶどう酒は醗酵して、膨張する。その新しいぶどう酒を伸びきった古い革袋に入れると、革袋が張り裂け、ぶどう酒も革袋も駄目になる。だから、新しいぶどう酒は柔軟に伸縮できる新しい革袋に入れなさいと譬えている。

主イエスによって、喜びの福音がもたらされる新しい時代が到来した。律法に縛られる古い時代は終わり、律法から解放され、個々の人間が神の愛と真実を受けて、自分らしい生き方を全うできる時代が来た。だから、新しい時代にふさわしい生き方をしなさい。この新しい時代を受け入れることは容易ではなく、旧態依然とした体制を守ろうとする勢力が主イエスを十字架の死へと追い込んでいった。ところが、新約聖書は核心的メッセージとして、その十字架が、「罪の赦し」であり、「生の絶対的是認」であると告知する。